

VC・金融機関等20社と連携協定締結

令和2年12月21日、南相馬市はベンチャーキャピタル（VC）・金融機関等20社と市内に集積したベンチャー企業に関する情報共有や交流の場の創出に関する連携協定を締結しました。地方自治体が20ものVC等と同時期に連携協定を締結するのは、全国でも初の試みです！！



◆協定締結企業（五十音順）

あぶくま信用金庫、イノベーション・エンジン株式会社、FVC Tohoku株式会社、株式会社七十七銀行、株式会社常陽銀行、相双五城信用組合、株式会社大東銀行、大和企業投資株式会社、株式会社東邦銀行、凸版印刷株式会社、DRONE FUND株式会社、株式会社日本クラウドキャピタル、株式会社日本政策金融公庫、日本戦略投資株式会社、株式会社ファンドクリエーション、株式会社福島銀行、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社、株式会社MAKOTOキャピタル、株式会社ラック、リアルテックホールディングス株式会社

■市では「福島ロボットテストフィールドを核とした新産業の創出と人材誘導」のために、様々な支援施策を進めてきました。その結果、市産業創造センターや福島ロボットテストフィールドを中心に、1年余りの間に40社弱のロボット関連事業者が進出し、一大集積拠点となりました。

■進出企業にはベンチャー企業も多く、それら企業の発展には、「実証試験場所の提供」と、「資金」の2つが必要不可欠です。

■これまでは実証試験場所の提供を積極的に行い、多くの実証・開発が行われてきましたが、今回さらなる支援として、資金調達しやすい環境を整備するため、VC・金融機関等と連携協定を締結しました。

ベンチャー企業、VCなどの用語の解説は裏面に

【特集】産業創造センター入居企業に迫る！

南相馬市産業創造センターには様々な企業が入居し、研究・開発に取り組んでいます。本特集では、入居者の事業内容や、拠点設置の際に感じた南相馬市の魅力などについてシリーズとしてお届けしていきます。第2回目は、B棟に入居している株式会社F-Design(エフデザイン)に迫ります。



南相馬事業所長
上村 宗弘

株式会社F-Design
設立 2004年9月
本社 神奈川県相模原市

■神奈川県相模原市から、2020年7月に南相馬市に進出しました。当社は、顧客の課題を解決する機械・ロボットなどの製作を、設計からデザイン、組み立てまで一貫して行っている会社です。

■2019年に相模原市から一足先に進出した(株)クフウシヤと、一緒に業務用掃除ロボットを開発する際に、南相馬市の開発環境に魅力を感じ、新規事業として自社ロボットの開発を行うことになったタイミングで南相馬市への進出を決めました。

■開発環境としての南相馬市の魅力はたくさん挙げられますが、なんといってもロボット実証がしやすいことです。当社のようなロボットを開発している事業者にとって、実際の現場での実証が不可欠ですが、通常はその場所を確保することが大きなネックになります。その点、南相馬市ではロボット実証に協力いただける方が多く、他の地域に比べて格段にロボット実証がしやすいです。こんなまちは日本中探してもなかなかないと思います。

南相馬市で開発した汎用ロボットベース

■ここで南相馬市で開発した新製品「汎用ロボットベース」(左下)をご紹介します！現在、配膳ロボットや警備ロボットなど、自律走行するロボットを開発する企業は、走行する車両部分とその上に搭載する機能の部分の両方を一から開発しています。そういった企業がこのロボットベースを導入すると、車両部分の開発コストを短縮でき、スピーディーな開発を行うことができるようになります。当社ではこの汎用ロボットベースを普及させることで、より多くの自律走行ロボットが実社会で活躍するようになる後押しをしたいと思っています。

■実はこの「汎用ロボットベース」は、ネジのような既製部品以外は、全て市内企業が製造した“オール”メイドイン南相馬のロボットなんです！部品の削り出しや板金ができるモノづくり企業が集積しているのも南相馬市の魅力の一つですね。

■メイドイン南相馬の当社製品が皆さんの生活の様々な場面で活躍するよう、これからも開発を頑張っていきますので応援よろしくお願いします！



実証実験にご協力いただける場所を募集します

ロボット開発を行う企業の実証実験に無償でご協力いただける場所を募集します。
ご協力いただける場所がありましたら、ぜひ市役所商工労政課までご連絡ください。

■背景・目的

市内には、市産業創造センターや福島ロボットテストフィールドを中心に、ロボット関連のベンチャー企業が集積しています。そういった企業が開発するロボットが製品化され、社会で活躍するためには、より実用に近い環境で実証実験を行うことが必要です。

これまでも、多くの方にご協力いただき、実証実験が行われており、地元の皆様のご協力・ご理解がロボット関連ベンチャー企業にとって南相馬市の大きな魅力となっています。

今回、より身近にロボットを感じて、地域としてロボット等の技術開発を応援していただく機会を作るとともに、市内でロボット等技術を研究開発する企業をさらに支援していくため、実証実験にご協力いただける場所を募集します。

■募集期間 令和3年2月15日（月）～3月15日（月）

■応募方法 お電話でご連絡ください（商工労政課 0244-24-5335）

■対象場所

店舗、宿泊施設、医療・福祉施設、工場、事務所、農地、山林など

※実証実験の内容によって適切な場所の条件が異なるため、

土地や建物の種別、広さなどは問いません。

※ご協力いただける時間や時期が限定されていても結構です。

（平日午後のみ、農業の閑散期など）



市HPにも
掲載中です



市内ホテルでの掃除ロボットの実証の様子



市内果樹園での農薬散布ロボットの実証の様子

楽天株式会社 が 鹿島区 で ドローン 配送 実証



■令和3年1月19日から1月29日までの間で計8日間、ドローン配送実証を行いました。鹿島区西町のスーパーシンド鹿島店から同区山下のグレイス福島までの約3kmを、スマホアプリから注文を受けた商品を載せてドローンが配送しました。地元の方にも商品注文などのご協力をいただきました。ありがとうございました！

■1月28日には、近くの上真野小学校の児童が授業の一環で見学し、初めて見るドローン配送に歓声をあげました。見学した児童からは「新型コロナウイルスが流行しているのでドローン配送で薬などが届けられたらいいと思った」などの感想が聞かれました。

SNS ロボin南相馬 もよろしくお願ひします

普段はSNSで情報発信を発信しています。FacebookやTwitterアカウントをお持ちの方はフォローをして最新情報をお見逃しなく！！



Facebook



Twitter

次号

- ・産業創造センター入居企業に迫る第3回
- ・市内で行われた実証実験の紹介
- ・その他ロボット関連ニュースなど

お問合せ 南相馬市商工労政課ロボット産業推進室
電話0244 - 24 - 5335

解説



今号に出てきた用語を解説します

■ベンチャー企業

「新しい技術、新しいビジネスモデルを中核とする新規事業により、急速な成長を目指す新興企業※」を言います。

（※出典：経済産業省ベンチャー企業の創出・成長に関する研究会最終報告書）

■ベンチャーキャピタル

ベンチャー企業が発行する株式などに投資することによって、ベンチャー企業に資金を提供する企業や機関を言います。VCと略されることもあります。（デジタル大辞泉から一部抜粋）

創業から間もなく、売り上げも小さいベンチャー企業は、VCなどからの投資（出資）、金融機関からの融資、行政などからの支援制度（補助金等）を活用して研究開発や事業の拡大を行います。